

大津町社会福祉協議会

デイサービス

発行

大津町
社会福祉協議会
大津町室 151-1
☎293-2949

瞬発力をつける前に

大事なのは…?

瞬発力と筋力はパワーのみなものであそび感覚で実施してはいますが、いつ落とされるかわからない棒をつかむぞ!というやる気が大事です

2

お見事



↑見事なやる気を見せて下さった古庄マツ子さん

1

やる気



わたしの宝もの11

「子ども3人、孫5人、ひ孫8人で、みな私によくしてくれまます。」とあわせそうに語るの

三池和子さん。「この前も美容師の孫が、そろそろ髪がのんどうんね?と電話かけてきて、デイサービスから帰る時間を言うて迎えに来てくれました。」「ひ孫が来るとき、門のところからはいばあちゃんと呼びながら走

ミニ写真館 (仮装ジャンケンゲーム中)



つて来るとですよ」と目をほそめます。

古城生まれの和子さんが親の決めた十歳も年上の人のもとに嫁いだのは十九歳の時でした。十人兄弟の長男で末の弟はまだ8歳。当時、長男の嫁は家業はもちろん親兄弟の面倒を見るのも当たり前前の時代でした。子どもができてからも、わが子は弟妹の次。あまりの辛さに次男を背負い、夜中に山を越え実家に帰ったこともありました。その後お義母さんを二十年介護し、ご主人とも六十二年連れ添いました。

当時をふり返り、「あの時踏みとどまれたのは子どものおかげ。そのおかげで今があります。私の宝ものは子どもです。」と切り切る三池さんの表情は見とれるほど穏やかでした。



誕生会の時の三池さん

バトンタッチ



平成十七年四月、手さぐり状態でスタートしたデイサービス「かわら版」でしたが、毎月一回発行を続けて今年十一月目に入り、今月で一二七号をかぞえます。

デイサービスでの皆さまの日常を、できるだけわかりやすくお伝えすることを一番大切に、そして皆さまからヒントをいただきながら紙面を作ってきました。

さまざまな人生を歩いてこられた皆さま同士、そして皆さまと私たち職員、それぞれ何かの縁があつての出会いだったと思つていきます。「かわら版」が何かひとつでも皆さまのお役に立てたなら、とても幸せに思います。

今日までお世話になりました。次号から編集者かわりますが、これまで同様ご愛読よろしくお願ひいたします。

千田

●介護予防 はつらつ元気づくりでは いつでも参加申し込みを受け付けております
●当センターでは いつでも見学や行事参加ができます

まずは☎293-2949へ